

キーテーマ

- EEF-2017の開催日が決まっている。
- ロシアと中国は極東発展委員会を設置する
- 100社目のテナントはウラジオストック自由港で投資プロジェクトを立ち上げる。



東方経済フォーラムニュース

2016年11月25日、インテルファックス通信社

EEF-2017の開催日が決まっている。

東方経済フォーラム組織委員会初めての会議でY. トルトネフ委員長は、フォーラム開催に向けて、ウラジオストック市のインフラ、市内と極東連邦大学宿泊施設の収容人数などに関する一連の任務を与えた。個別の任務はEEFビジネスプログラムに触れている。ロシア連邦大統領の日程を考慮して第三回東方経済フォーラムを2017年9月6-7日に開催することに決めた。

A. コビャコフロシア連邦大統領補佐官兼EEF理事が指摘したとおり、「本フォーラムは世界政治日程の重要なイベントとして根付き、開催されている二年間でフォーラムは、ロシア極東発展とアジア太平洋地域経済統合を優先的に狙う国際交流の幅広い場となった」。 <http://www.interfax-russia.ru/FarEast/news.asp?id=786157&sec=1671>

国家極東政策

2016年11月20日、minvostokrazvitia.ru

APECサミットでプーチン大統領は中国と日本の首脳と経済協力問題を討議した。

首脳会談でプーチン大統領と習近平国家主席は露中協力の問題を検討した。ロシア大統領は特に、貿易経済発展が改善するダイナミックを指摘した。 今日現在、中国の投資家は優先発展区域とウラジオストック自由港ですでに20件以上の投資プロジェクトを申し込み、投資総額はほぼ三百万ドル。両国は国際運用回路「沿海1号」およ

び「沿海2号」プロジェクトの実施に協力して取り組み続けている。

ロシア大統領との会談で日本の安倍総理は、二カ国間関係の積極化を指摘し、去る第二回東方経済フォーラムの意義を強調した。両首脳は、投資総額が160億ドルに達するエネルギー、インフラ、農業、医学、都市環境発展といった分野の大型プロジェクト18件を含む露日極東発展計画の合同実施の継続を討議した。<https://forumvostok.ru/nasammite-ates-vladimir-putin-obsudil-voprosy-ekonomicheskogosotrudnichestva-s-liderami-kitaya-i-yaponii/>

2016年11月24日、REGNUM

連邦特定目的諸プログラムには「極東項目」が現れる。

国家特別プログラム、連邦特定目的プロジェクトには2017年から極東の優先発展項目を加えるようになるとD.メドヴェデフが述べた。それぞれは地域の難問と特殊性を念頭に入れた特別措置と達成すべき目的地を含むようになる。「各国家プログラムへのこういった項目の追加を狙う作業を、2017年3月31日まで完成すべきだ」ロシア政府議長が強調した。<https://regnum.ru/news/economy/2209166.html>

2016年11月25日、minvostokrazvitia.ru

シンガポールには、ロシア・シンガポール政府間高レベル委員会の第七回会議が開催された。会議の結果、ロシア極東の「投資誘致と輸出支援エージェンシー」と「シンガポール・コーポレーション・エンタプライズ」によるシンガポール業界を対象とした合同プレゼンテーション開催が合意された。イベントの場で「チャンギエアポーツインタネーション」、「ベース・エレメント」両社とロシア直接投資基金は、シンガポール企業によるウラジオストックの「クネヴィチ」空港の売却に関する協定がサインされた。http://minvr.ru/press-center/news_minvostok/?ELEMENT_ID=4849

2016年11月7日、「ロシイスカヤ・ガゼタ」紙

ロシアと中国は極東発展委員会を設置する

D.メドヴェデフと中国の李 克強 国務院総理は、ロシア極東と中国の東北地方の間の協力に取り組む新しい政府間委員会の形成を承認した。両首脳は、貿易、経済、相互投資、文化・人文交流、教育といった分野における実践的協力の諸問題も討議した。<https://rg.ru/2016/11/07/reg-szfo/rossiia-i-kitaj-sozdadut-komissiiu-po-razvitiu-dalnego-vostoka.htm>

極東経済

2016年11月8日、「ティホオケアンスカヤ・ロシア」紙

オーストラリア企業はチュコトカ石炭産地の開発を開始した

Tigers Realm Coal Limited社は「ファンデュシキンスコエ・ポレ」石炭産地の開発を開始した。チュコトカ当局は、協定実施の結果年間採掘能力が1000~1200万トンに達すると計画する。石炭は中国と韓国を含むアジア・太平洋地域諸国およびチュコトカ内需に向かわれる予定。企業が2017年およそ20万トン、2018年からは50万トンまでの石炭を発掘する予定。<http://to-ros.info/?p=42659>

2016年11月7日、タス通信者

日本は沿海州観光を拡大する予定

沿海州を訪問した日本の観光業者は観光地としての州の潜在力を高く評価し、同地域を観光先として開拓する構え。ロシアの観光業者との会合で情報共有に関する合意が達成された。日本側の意見で、すべての観光地として利用できる行き先およびその見所に関する定期的な情報供給は、観光客のロシア極東への関心度を高めることができる。「娯楽保養地「プリモリエ」、マリンスキー劇所舞台のような施設が相次いで台頭している。アジア諸国からの観光客を誘致しながら我々は観光ルートの上上げを計画している」と「オオテ」観光会社のオオキノ・ミツル氏が述べた。<http://tass.ru/turizm-v-rossii/3775528>

極東発展の新しいメカニズムサクセスストーリー

2016年11月15日、「ヴェスチTV」

「極東ヘクター」の申込みは10000件以上提出されてある。

「ヘクター」を取得したものは、国家支援をもらうことができる。そのため「人的資本開発エージェンシー」は専門センターを設ける予定。プログラム参加者のためにたとえば、農産物栽培と出荷、農機合同利用を斡旋する組合の設立の支援などが与えられるならびに、機械および自動化の小型手段合同利用センターが設けられる予定。ほぼ3500件の申し込みはサハ共和国（ヤクチア）からで、二位を沿海州（2300件以上）、三位をサハリン（2000以上）を占める。与えられた土地の一番需要がある用途は住宅建設、人気度で二位を占めているのは農地としての利用。「現時点申請できるものは極東の住民だけで、2017年2月1日からはロシアのすべての市民が「極東ヘクター」を取得できるようになる」とA. ガルシカ極東発展大臣が指摘した。<http://www.vestifinance.ru/articles/77623>

2016年11月28日、minvostokrazvitia.ru

カムチャトカで、ペトロパヴロフスク・カムチャツキー自由港枠内の最初の投資プロジェクトの実施が始まった。

最初のテナント候補者はペトロパヴロフスク・カムチャツキー市で近代的なホテルを建設し、原住民の生活を紹介する「エスニック村」を設ける予定。州政府は現在、潜在的自由港テナントになりたい企業から入った更の16件の申請を検討している。その投資総額は少なくとも200億ルーブルとなるだろう。自由港資格はペトロパヴロフスク・カムチャツキー港内に2016年六月に展開された。<https://ria.ru/economy/20161116/1481458962.html>